

言葉によって

おおえ けんざぶろう
大江健三郎

内容理解

この文章で筆者は、作家が、言葉によってその時代に生きる人間を捉え、さらにその時代そのもの、また時代を超えてその民族の文化そのものを表現しようとしていることを、具体例をあげて説明している。本文を読み直しながら、空欄に入る適切な言葉を補ってみよう。

作家は言葉によって人間を捉えようとする。



作家は、言葉によって、自分のつくり出した小説の

人間の存在と

1

と想像力そのものを現実化することを願う。……



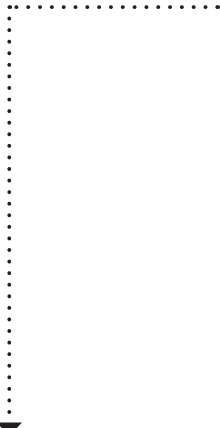
作家は、個人的な言葉が一個の人間の存在と行動と

2

力を表現し、さらに

3

の全体を表現できるかもしれないと思い、小説を書き続ける。



具体例 歴史を振り返ると、個人の言葉でありながら時代全体を表現する言葉、さらに時代を越えその民族の
5
を表現していると感じさせる言葉が見いだされる。

具体例 その場にはいない友人を他人に向け実在させようとしたとき、彼の言葉や自分が彼のために作り出す
4
によってしかそれはできない。

語句

この文章の中で使われていた次の言葉を使って、短文を作ってみよう。
想像力（六・二）

野望（七・六）

実在（七・10）

時点（九・6）

具体例

外間守善氏は、『おもろさうし』から「うりずん」という「⁶」の時代の言葉を発掘し、今日によみがえらせ、沖縄の人間の歴史を貫く存在を照らし出した。

（「うりずん」という言葉の意味 ものみな枯れた冬の季節が終わり、黒土の盛り上がりつつくる新しい季節が到来すること。

← 沖縄戦という冬の季節の後、沖縄の若い人たちが反戦、⁷の思想を抱くこと。）

私たちは、民族の⁸の中、あるいは自分の個人の内部から、自分の言葉を導き出すことで、自分を歴史のうちに位置づけ、⁵世界に実現することができる。

具体例 自分にとって大切な人が亡くなり、ある状況でその人ならどうい言葉を発するかを思うことでその人の言葉を発見できたならば、その状況のうちに、その人の¹⁰と、行動と、想像力が生き生きとよみがえり、その死者を現実社会に向けて、はつきりと表現することができる。

要旨

筆者の考えの中で最も大切と思われることを、指定された言葉を使って、百字程度の文章にまとめてみよう。
〈指定語——言葉・想像力〉

発展

次の中で興味を持った事項について、図書館の書籍やインターネットなどを使って調べてみよう。

・「おもろさうし」はどのような本で、その中の「うりずん」とい言葉は、今日どのように使われているか。

・大江健三郎にはほかにどのような作品があるか。

・沖縄戦では、日本軍とアメリカ軍の戦いで、具体的にどのようなことが起こったか。

100